

第2期行財政改革プログラム【概要版】

第1章 策定の背景

【1. これまでの取組み】（P. 1）

- 「行財政見直しに関する基本方針」（昭和61年度策定）
- 「堺市行財政見直し推進計画」（平成7年度～平成9年度）
- 「新堺市行財政見直し実施計画」（平成10年度～平成14年度）
- 「行財政改革計画」（平成15年度～平成17年度）
- 「新行財政改革計画」（平成18年度～平成21年度）
- 「行財政改革アクションプログラム」（平成22年度）
- 「行財政改革プログラム」（平成23年度～平成25年度）

【2. 行財政改革の成果】（P. 2～8）

- 直近5年間では、毎年度50億円を上回る単年度効果額を計上
- 財政状況（H24決算）
- ・普通会計における実質収支は33年連続の黒字、単年度収支は3年連続の黒字を確保
 - ・実質公債費比率(4. 9%)は政令指定都市中2位、将来負担比率(36. 9%)は政令指定都市中3位であり、政令指定都市トップクラスの健全性を堅持
- 主な取組成果
- ・事務事業の見直し(事務事業の総点検、みんなの審査会の実施)
 - ・要員管理の推進(H21:6, 687人 → H24:5, 561人)
 - ・アウトソーシングの推進(指定管理者制度導入施設数 H24:214施設)
 - ・市立保育所の民営化(H20～H24:6施設を民営化)
 - ・外郭団体の見直し(外郭団体の統廃合 H20:21団体→H24:17団体)
 - ・市税等の歳入確保(市税収納率 H20:98. 15%→H24:98. 56%) など

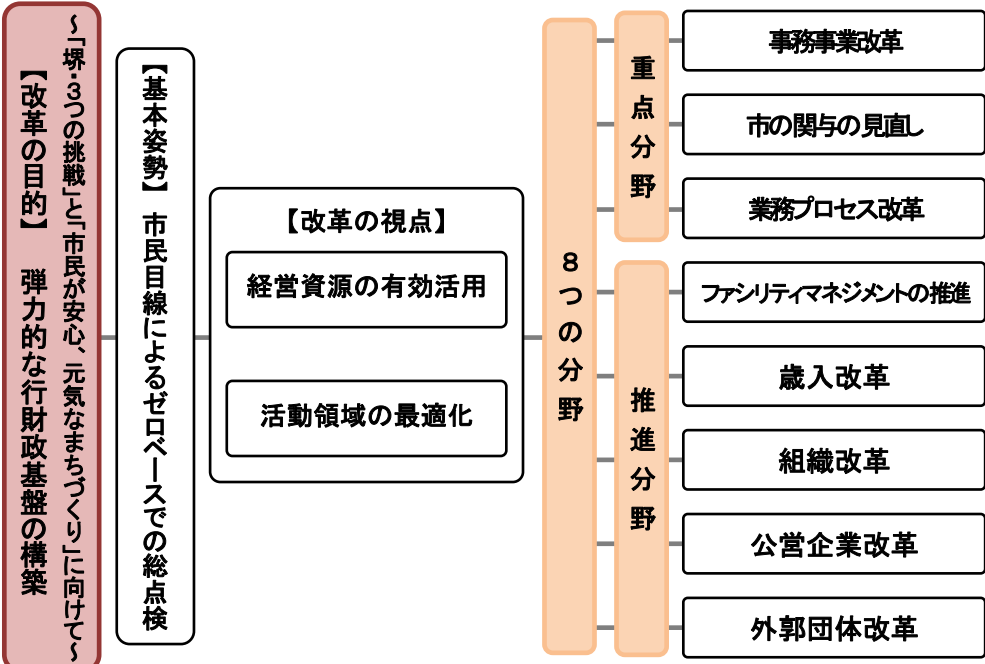
【3. 対応すべき課題】（P. 9～10）

- (1)今後予想される財政状況
- ・生産年齢人口の減少による税収の減少
 - ・超高齢社会の進展による社会保障費の増大
 - ・公共施設の更新や大規模改修時期の到来
 - ・財政構造の弾力性の低下 など
- (2)行政課題の多様化
- ・地方分権の進展に伴う基礎自治体の自己決定権の範囲拡大
 - ・「ニア・イズ・ベターの原則」に基づく都市内分権の推進
 - ・多様な主体との連携による協働型まちづくりの推進
 - ・アウトソーシングの推進 など

第2章 基本事項

【1. 基本的な考え方 2. 改革の目的 3. 基本姿勢 4. 改革の視点】（P. 11～13）

「堺・3つの挑戦」と「市民が安心、元気なまちづくり」を着実に進めていくために、「弾力的な行財政基盤の構築」を改革の目的として、「市民目線によるゼロベースでの総点検」という基本姿勢のもと、「経営資源の有効活用」と「活動領域の最適化」の視点を持って、「8つの分野」における行財政改革に全庁一丸となって取り組めます。

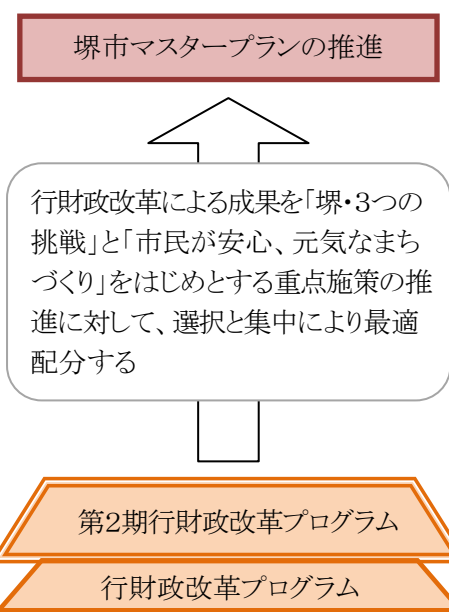


【7. 目標】
（P. 14）

計画期間中に320億円以上の行財政改革を推進します。

PDCA マネジメントサイクルを活用し、「8つの分野」における個別取組の達成状況や課題の検証等の進捗管理を毎年度適切に行い、4年間の計画期間においては歳入・歳出合わせて320億円以上の行財政改革を推進します。

【5. 位置付け】（P. 14）



【6. 計画期間】（P. 14）

平成26年度から平成29年度(4年間)

第3章 取組内容

【個別取組 全86項目(重点分野38項目・推進分野48項目)】（P. 15～43）

重点分野1. 事務事業改革 [6項目]	推進分野5. 歳入改革 [13項目]
・「事務事業の総点検」の強化 ・「みんなの審査会」の実施 など	・市税の収納率の向上 ・庁舎内広告掲載等の実施 など
重点分野2. 市の関与の見直し [20項目]	推進分野6. 組織改革 [10項目]
・指定管理者制度の推進 ・(仮称)区教育審議会の設置 など	・要員管理の推進 ・職員の意識改革と能力開発の推進 など
重点分野3. 業務プロセス改革 [12項目]	推進分野7. 公営企業改革 [8項目]
・内部管理マネジメントの推進 ・電子申請、届出サービスの拡大 など	・水道料金及び下水道使用料の収納率の向上 ・小水力発電設備の設置による売電収入の確保 など
推進分野4. ファシリティマネジメントの推進 [14項目]	推進分野8. 外郭団体改革 [3項目]
・未利用、低利用財産の有効活用 ・道路、橋梁の長寿命化 など	・経営評価機能の強化 ・外郭団体見直し方針の改訂 など

第4章 推進方法

【推進方法】（P. 44）

- ・全ての個別取組について「工程表」を作成し、PDCA マネジメントサイクルを活用して、年度単位で達成状況や課題の検証等を行い、適切な進捗管理を実施
- ・「工程表」については、市ホームページを通じて毎年度公表
- ・計画期間中における新たな個別取組についても、適宜「工程表」を作成

【PDCAマネジメントサイクルによる推進】（P. 44）

